

# = Match Report =

平成29年度 栃木県高校総体兼第60回 関東高等学校サッカー大会県予選会

準決勝

2017年 5月 13日 (土)

13:00 kick off 会場( 栃木県グリーンスタジアム )

宇都宮短期大学附属高校

vs

宇都宮白楊高校

3

1 - 0  
2 - 1  
-  
-  
PK

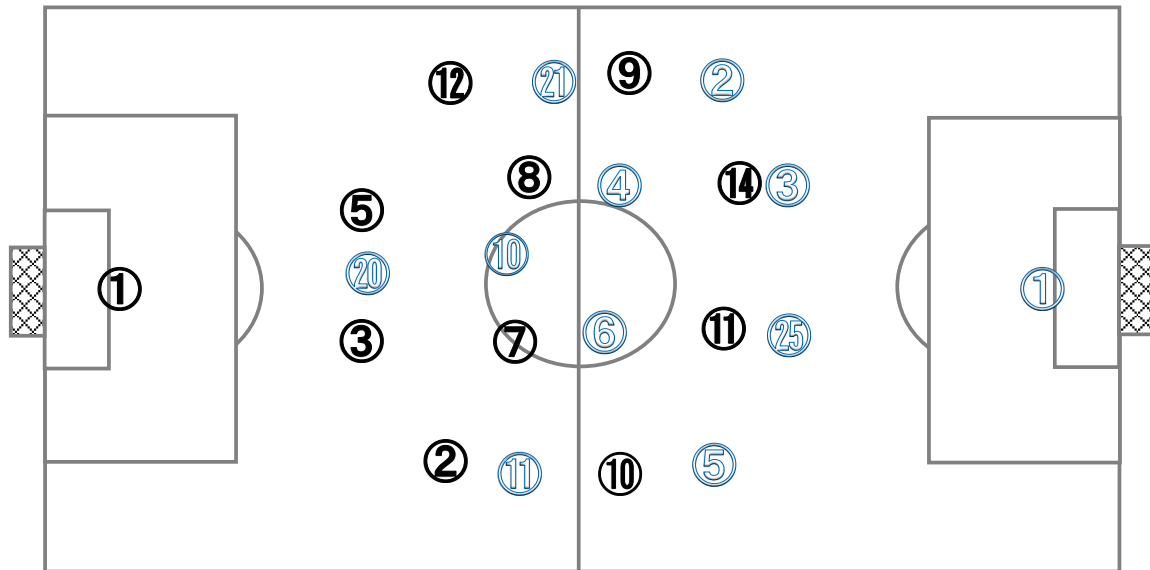
1

宇都宮短期大学附属

宇都宮白楊

基本システム 1 - 4 - 4 - 2

基本システム 1 - 4 - 2 - 3 - 1



## 【Match Report】

関東大会の代表権をかけた準決勝第2試合。シード宇短大附属と宇都宮白楊の対戦となった。時折降りつける激しい雨がゲーム内容に影響を及ぼしそうなコンディションの中、宇短大附属1-4-4-2システム、宇都宮白楊1-4-2-3-1システムでスタートした。お互いに探り合う状況下の4分、幸先よく宇短大附属⑪佐藤が先制。その後、高い技術をベースにボールを保持する宇短大附属に対し、宇都宮白楊は引き気味に選手を配置して守備に注力する。宇短大附属が優位に進めるかに思われたが、奪ったボールをシンプルに前線の選手に渡して、早めのクロスやミドルシュートでチャンスを窺っていた宇都宮白楊が徐々に押し返す。そのまま互角の戦いが展開されて前半戦を終えた。

後半開始早々、宇短大附属は右サイドからのセンタリングを⑭町山が頭で合わせ追加点を挙げる。スコアで優位に立った宇短大附属は、攻撃時の連携が目に見えてスムーズになり、幾度となく決定機を作り出す。ボールが数回ゴールポストを叩くなど、追加点を挙げられずにいたが、65分に⑨荒井が3点目を挙げる。大勢は決した中で、宇都宮白楊は諦めることなく粘り強い戦いを見せるが、攻撃時のパス精度を欠きなかなかチャンスを作り出せない。そのまま終わるかに思えた80分に⑪戸崎が1点を返し意地を見せたが、3-1で宇短大附属が勝利を収めた。

敗れた宇都宮白楊は、前後半とも立ち上がりで失点し、氣勢をそがれる形になってしまったが、最後までチーム一丸となって戦い抜いた。シンプルかつ丁寧な攻撃で、チャンスを多く作り出していた前半の流れを後半に持ち込めなかったことが悔やまれる。失点シーンではゴール前でのマークの甘さが散見された。今後の課題として改善していただきたい。勝利した宇短大附属は、高いスキルをベースにボールを保持し、幾度となく宇都宮白楊ゴールに迫った。攻撃のリズムに変化がつけられれば、さらにその威力は増すであろう。連戦となる決勝戦ではあるが、万全の態勢で臨んでいただきたい。

記載責任者 所属( 今市高等学校 ) 氏名( 北村 真一 )